

須恵

須恵町
議会だより

平成20年5月2日発行

164号



3月定例会 主な内容

- 66億3,300万円 平成20年度一般会計当初予算可決! 2
- ここが聞きたい(一般質問) 4
- 委員会レポート 12
- ごめんなざっしえ〜!(女性綱引きクラブ アザレアTC) 16

表紙/かやの保育所春の園外保育(皿山公園)

ごめんなざっしえ〜!

第4回



女性綱引きクラブ「アザレアTC」

須恵町の各種団体、サークルなどを訪問します。今回は、全国大会出場を果たした、女性綱引きクラブ「アザレアTC」さんにごめんなざっしえ〜。

◇ ◇
綱引きクラブ アザレアTCさんはどのような活動を行っていますか。

結成六年目、主婦十二名(平均年齢四十歳)と吉田監督とで、第一小学校体育館において週三回練習をしています。

(ご免ください)

指導に平山さん、倉光さん、また佐川急便福岡綱引きクラブや本合(もったい)クラブの皆さんが来てくれて、皆で全国を目指しています。

◇ ◇
今までの実績は

福岡県大会二位、山口県大会優勝、男女混合スポレク鳥取五位等々、そして全国大会出場に至りました。

◇ ◇
今後の予定は

大会は、年に六〜八回で県大会をはじめ、九州大会、西日本大会など県内外問わず出場しています。



広報特別委員会委員と一緒に記念撮影

次回は、五月十八日の福岡県大会で、全国スポレク予選となっています。また、七月上旬に大分県別府市で開催される西日本大会にも参加する予定です。

◇ ◇
目標や、望むことは

主婦をしながらの活動で少々大変ですが、まずは目前の前回二位だった福岡県大会の優勝が目標です。

◇ ◇
また、制限体重五二〇kgという中、我がチームは四五〇kgと軽量なため、若くて体格の良い方を募集しています。

最後に、遠征費等がかさむ関係上、補助金の交付や、スポンサーを探しています。

◇ ◇
皆様の応援をよろしくお願いたします。

編集後記

「不思議の国のアリス」に登場する「ドードー」という鳥、自分の涙でできた池に落ちたアリスの濡れた服を乾かすためにレースを提案したあの鳥である。

大きなくちばし、丸々と太った体と不釣り合いな小さな羽、想像上の鳥かと思っていたら、実は三百年程前までは実在していたという。人間の進出が原因で絶滅したらしい。

地球上に生息する生物は今、一日に一種が絶滅していると言われており、現在、国内に生息する鳥類

で絶滅寸前の種は二十七種類もある。

日本を代表する鳥として知られた日本産「トキ」が絶滅し、「トキ」と同時に天然記念物の指定を受けた「ダンチョウモ」も、大正時代には十数羽にまで減少していたが、何とか人々の給餌で、六百羽を超えるまでに増えている。

私たちにできることが何かあるのではないだろうか。

◇ ◇
もうこれ以上、物語の中でしか生きられない生物を増やすのはやめたいものだ。

今村 桂子

町議会の活動の状況を知るために、どなたでも傍聴できます。

申込みの受付は、役場4階議会事務局で行っています。

なお、次の定例議会は、6月12日からの予定です。

広報特別委員会

議長	藤石 豊
委員長	御手洗寿乃
副委員長	合屋 伸好
委員	森 勝己
委員	今村 桂子

発行/編集責任者/議長 藤石 豊 所在地/〒811-2193 須恵町大字須恵771番地 TEL092(932)1151(内線411 議会事務局) FAX092(932)5679

3月定例会

平成20年第1回定例会は、3月5日から3月21日までの17日間で行われ、提案された議案30件については、原案のとおり可決・承認されました。また、意見書2件についても可決されました。

66億3,300万円

平成20年度 一般会計 当初予算可決!



開会を宣言する藤石議長

緊縮予算!

平成二十年度一般会計の歳入歳出予算の総額は六十六億三千三百万円となりました。

前年度当初予算と比較すると二億二千七百万円の減で、率にして三・三%減の緊縮予算となっています。

二〇一一年度を目的に、国・地方を通じた基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字化を目指すための「三位一体の改革」の中、国庫補助金四兆七千億円、地方交付税五兆一千億円の減少に対し、税源移譲は三兆円にとどまっています。

また、地方税収の増加には地域間にばらつきがあり、特に税収の乏しい地方団体にとっては一層厳しい状況で、地方財政は大きな打撃を受けています。

更に追い打ちをかけるように「骨太の方針二〇〇七」においても、地方

バランスを維持するために、基金の取り崩しにより収支の均衡を保っています。

十九年度の取り崩し予算額八億二千万円に対し、二十年度は四億七千万円の減で、三億五千万円の基金からの繰り入れが必要となっています。

更なる抑制を

一方歳出におきましては、更なる抑制を図らなければならず、行財政改革推進の一環として、人件費については、特別職の給与カット、職員数の削減、管理職手当・地域手当・時間外手当の減額、物件費については、交際費の抑制、職員の旅費支給条例の改正による減額措置などを行います。

また、このような財政状況のため区長会をはじめ各種団体への補助金の削減、敬老祝い金を節目での支給に変更するなど、歳出を抑制しています。非常に限られた財源の

は歳出の削減に取り組むことが要請されています。

このような地方財政の厳しさに加え、行財政改革の究極の手段である合

併協議は、スムーズに進んでいません。

本町においては単独行政の道という選択肢も視野に入れて行財政の運営

に取り組みざるを得ないところです。

基金からの繰り入れが必要

歳入の予算について、

町税のうち個人住民税は、前年度比六千七百万円の増、町税全体では七・八%の増を見込んでいます。また、ガソリン税等暫定税率が廃止される事態を考慮し、地方譲与税・自動車取得税交付金を合わせ五千万円を減額しています。

地方交付税は、地域間の税収偏在を是正するため、二十年度においては「地方再生対策費」として四千億円が確保されました。

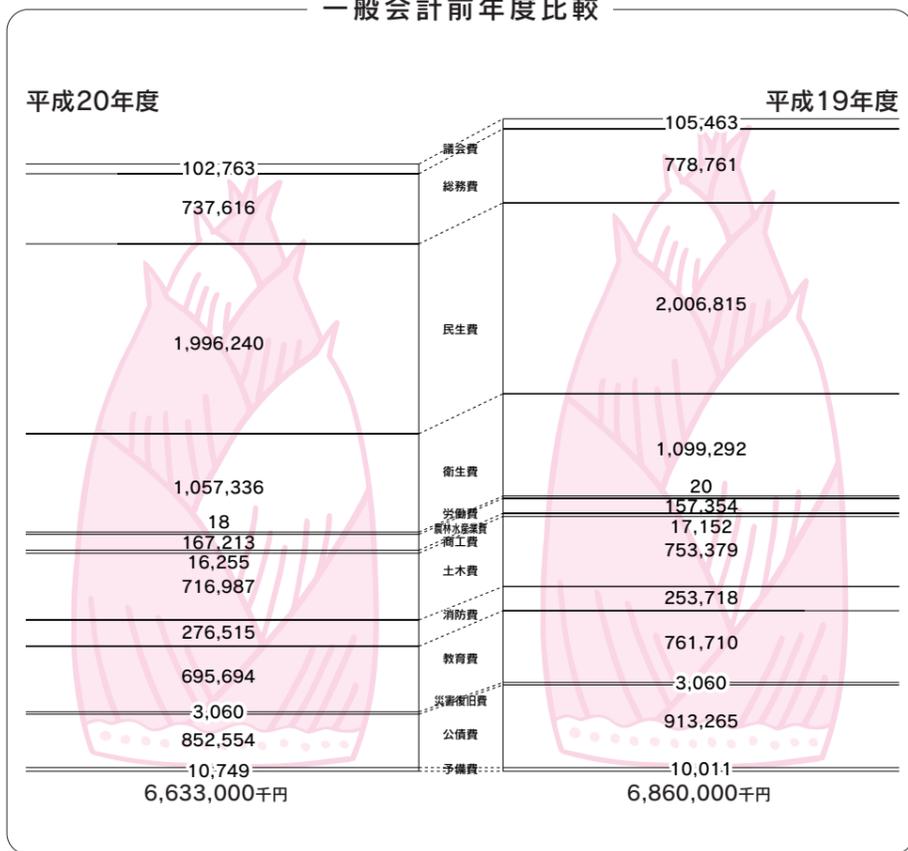
本町においては、交付額を三千三百万円と試算し、普通交付税・特別交付税を合わせて対前年度比六千二百万円増、三・九%の増で計上しています。

しかしながら、歳入全体においては収支の

平成20年度各会計当初予算額

会計区分	H20年度予算額	H19年度予算額	比較(%)	
一般会計	66億3,300万円	68億6,000万円	△3.3	
国民健康保険特別会計	30億5,516万円	31億6,720万円	△3.5	
老人保健特別会計	3億425万円	22億75万円	△86.2	
後期高齢者医療特別会計	3億8,856万円	-	-	
奨学資金特別会計	355万円	334万円	6.3	
公共下水道事業特別会計	11億1,213万円	11億912万円	0.3	
農業集落排水事業特別会計	8,364万円	8,500万円	△1.6	
水道事業	収益的支出	6億2,867万円	6億462万円	4.0
	資本的支出	2億3,719万円	2億743万円	14.3

一般会計前年度比較



中での厳しい予算編成となり、目玉といえるような事業がない予算となりました。

に努めているか厳しくチェックしていきたいと思

◇奨学資金特別会計
◇公共下水道事業特別会計
◇農業集落排水事業特別会計

安全で、安心な住みよ

◇国民健康保険特別会計

◇水道事業会計

いまちづくりを目指し、

◇老人保健特別会計

◇後期高齢者医療特別会計

なおり一層の気持ちを引き

◇後期高齢者医療特別会計

◇水道事業会計



答弁中の中嶋町長

ここが聞きたい!!

一般質問



合屋 伸好 議員

中学生の合同部活動 連携協力しあう関係づくりを働きかける

問 現在の須恵町の中学校における部活動は、体育部と文化部を合わせて、須恵中学校が一三、須恵東中学校が一〇という比較的に限られた選択肢数といえるのではないのでしょうか。

これは顧問や指導者数に限りがあるというのが原因ですが、これに伴い越境を強いられるなどの不合理が生じています。

そこで、その解決法の一つとして、二つの中学校の「合同部活動」という方法が考えられます。

中体連においては、複数校での合同の出場が認められているはずですが、教育長の考えは。

答 東教育長 須恵東中学校の場合、部員数が少ないので公式戦出場のためのチーム編成が困難な場合には須恵中との合同チームで出場することがあります。

公式戦出場のみに限らず、日頃の部活動においても合同で活動できるように活動場所や移動、下校時の安全対策等についても、両校の指導者と保護者との間で十分協議し、連携協力しあう関係づくりに努められるよう教育委員会として働きかけていきたいと考えています。

また、水泳や剣道など個人種目についても公式戦出場が可能となるように、できるだけ学校の部活動として位置づけていただくように学校側に検討をお願いしたいと考えています。

これからの町づくりをどうする 教育を基盤とした町づくり

問 糟屋六町合併協議は入り口にすら入れず、一から出直さなければならぬ状況に立ち入った。厳しい財政運営が続く中で明るい展望が見出せない町政の状況下で、予算も町債と経費削減で編成され各種医療費等の負担増など財政はさらに硬直化し、町づくりは停滞し、さらに町間の格差が生じないか懸念される。

さらなる子育て支援の充実、人口の伸び悩みによる住民の定住化促進、コミュニティバスの導入、企業誘致など諸課題と今後の町づくりについては。

答 中嶋町長 子育て支援・人口の伸び悩み・コミュニティバス導入・企業誘致の問題等挙げられましたが、私の町づくりの構想というのは、その町の持つた立地というものが非常に左右してくると考えています。

粕屋町においては、十二平方キロメートルの中にJRの駅が七ヶ所もあり、国道も走っているという状況で、南部三町においては、国道すら走っていないという交通アクセスの問題があります。

しかし、志免町・粕屋町に比べ宇美町・須恵町・久山町・篠栗町は、自然環境に恵まれたところがあります。

その立地を利用した町づくりを考えなければなりません。

住民と行政とが手を携えて人と人、人と自然、人と町が共生する教育を基盤とした町づくりを行っていきたくと考えています。



稲永 信英 議員

道路特定財源問題は 道路整備に支障をきたす

問 通常国会において、継続か一般財源化をめぐる激しい議論が展開されているが、国も地方にとっても重要な課題であり与野党を問わず、大いに議論されなければならないと思う。

石油の高騰による運輸産業、中小企業は経営に窮している。

また、物価高と給料の目減りで国民は生活に困窮している中で与野党内でも一般財源化に理解する声があるが、この問題についてどう受け止めてあるのか。

答 中嶋町長 道路特定財源を一般財源化するということは、公共事業の削減により余剰があるということであることだと思えます。

しかし、暫定税率を廃止するということになるとその税収（二兆六千億円）をどこから引き出すのが大きな問題となつてきます。

この二兆六千億円が福岡県に七百億円程度、その内、須恵町には五千万円という補助金が分配され、道路整備等に充てる非常に大きな財源であるわけですが、これがなくなるとスマートインターからの連結道路もできなくなるし、筑紫野々古賀線の拡幅工事等もできなくなるという状況に陥つてきます。

コミュニティバスは 法定協議会を発足する

問 現在の福祉バスを町民が、誰でも安価で利用できる「コミュニティバス」に変更しようというものですが、ここ数年検討がなされています。

今回は、合同部活動の支援が発端になっていますが、他にも多くの利便性があります。

町長は以前、県道筑紫野々古賀線に伴う質問の答弁で、二千万円の予算の中で検討する旨を示されています。

その後の経緯と方針は。

答 中嶋町長 検討の進捗については、現在国との協議段階です。町・公共交通事業者・道路管理者・公安委員会・住民代表という人々たちによる法定協議会を早く立ち上げて実証運転に入りたいと考えています。

方針としては、速やかにコミュニティバス化を進めたいと考えており、時間帯の問題・路線の問題・どういったバスを運行させるか等により費用等が変わってくると思いますが、予算費用等については、この法定協議会の中で審議を行っていただきたいと思っています。

知りたいこと

知むこと



原野 敏彦 議員

飲酒運転撲滅の取組は徹底指導

■問 昨年、南部消防本部職員が警察の飲酒検問を受け、酒気帯び運転により検挙されました。本町において飲酒運転防止の取り組みはどのようにされているのか。また、検査方法、アルコールチェッカーの導入、もし検査をされていて基準値以上のアルコール濃度が検出された場合、職員の勤務を停止するのか。今後の本町の飲酒運転撲滅に対する取り組みは。また、消防団員の火災出動時の指導については。

■答 中嶋町長

本町の取り組みについては、広報紙における啓発あるいは区長会をはじめ

めとした各種団体での会合時に飲酒運転撲滅のお願いをしています。町職員に対する防止については、課長会において再三指導管理をしているところで、飲酒後は十時間以上空けて運転するようにと指導しています。現在、アルコール感知器を一台導入しており、今後はアルコール感知器の数を増やすようにしています。各自が確認できるという程度で義務付けはしていませんが、基準以上、また極端にひどい場合は帰宅命令をかけることとなります。また消防団員の指導については、消防役員会において度々議題として取り上げており、飲酒運転撲滅運動に一役買ってもらいたいというお願いもしています。飲酒運転撲滅について、行政、消防団も含めて徹底的に守るという指導を行っています。



アザレアホールで行われた「交通死亡事故根絶総決起大会」雨の中での出動式



荒木 敏光 議員

須恵町医療費抑制対策は先進地の例を見習いながら

■問 厚生労働省は、昨年十月、後発薬の普及策として「お試し調剤」制度の導入を計画しました。



ジェネリック医薬品お願いカード

患者に後発薬を一週間試してもらい、問題がなければ本格的に使用してもらう制度です。それに「お試し調剤」を実施した薬局には、調剤報酬を上乗せすることで普及を促します。平成二十年度の診療報酬改定での実現を目指すとしており、後発薬を一定以上使用した薬局には、調剤基本料を手厚く分配されるもので四月より実施する方針です。後発医薬品メーカーも、医療費抑制のため医師が後発薬を優先的に処方するのを好機とみています。町政としても医療費の抑制は避けられない状況であり、また患者の薬剤費の負担軽減になればと願っております。

■答 中嶋町長 今後この後発医薬品の使用が進んでいった場合、本町においての効果として、計算的に非常に難しい問題ですが、平成十八年度が一億六千七百万円の医薬品代で、若干これが下がり医療費抑制につながっていくという期待をしています。平成二十年度の国費ベースだと、二百二十億円の削減につながるのではないかと試算がされています。富山県・広島県については、後発医薬品の利用についての促進が図られているということですが、本町におきましても、そういった他県の先進地の例を見習いながら糟屋郡の担当課長会におきまして何らかの手立てをさせていきたいと思っています。



柴田 真人 議員

須恵中央駅駅前広場の改造を 歩行者を優先する

■問
須恵中央駅への子どもたちを送り迎える車が時間帯によって歩道にまで乗り上げて待っている状態です。
普段でもUターン場所に駐車しており、次の車が来ても出て行くこともせず居座ったままなので、しかたなく歩道に乗り上げてUターンして出ていく状態です。
駅前広場は狭いと思いますが、何とか知恵を出してロータリー化していただけないか御検討を。



ロータリー化できないのか？須恵中央駅

■答 中嶋町長
ロータリーをつくらうとすれば、幅員が十三メートル必要となりますが、須恵中央駅の間口の幅員は、歩道を含めたところでの十三メートルなので待合室や歩道等を無くさなければなりません。
徒歩又は自転車による利用の方の安全性を損なうことにつながるし、駅舎・コンコースの改良に伴い、それに加えロータリー入り口に新たな交差点を設けるということになる、さらなる交通渋滞・交通事故を誘発することが懸念されます。
このことから改良することは、J R等交通管理者からの同意を得ることはかなり厳しいと思われるます。
中央駅のロータリー化に関しては、現在の利用状況から見て歩行者を優先すべきではないかと考えています。

安心安全な食品を 嚴重に注意を払っている

■問
中国から輸入した冷凍餃子に基準値を超える農薬が混入し、世間を騒がせた大きな社会問題となっている。
須恵町においては、保育所・小学校給食に問題の餃子は使用されていなかったか。
給食に使用される地産の食品の割合は、地産地消の推進は行われているか。
日本の食料自給率は三九%と低く、世界の先進諸国の中でも最低の水準となっている。
自給率を上げるための対策や安心安全な食品を食するために、須恵町独自の農業者への支援はあるか。



今村 桂子 議員

■答 中嶋町長
問題となった中国冷凍餃子は使用していません。本町は食からの健康づくりを推進していますので、給食の食材について嚴重に注意を払っています。
地産食品の割合を数値化することは多種多様にわたっているため非常に難しいわけですが、JA粕屋の米を一〇〇%、ジャガイモ・タマネギは国産品で、その内、須恵町で産出されたものが二八・六%です。
また、冷凍食材に中国産を使用している物もありますが、学校給食会での三百五十項目に及ぶ検査並びに細菌検査を行ったものを使用しており、安全性には確保を務めている状況です。

若人の農業離れも深刻だが、何か対策が行われているか。

本町単独ではありませんが農用地流動化対策事業補助金というところで、水田の借り手、農業者への助成を行っています。
農業政策については、須恵町の地域水田農業ビジョン、地産づくり計画等、いろいろと須恵町地域水田農業推進協議会により、



小学校給食の様子

毎年策定計画を挙げて進めています。近郊農家で兼業農家あるいは日曜農業というようなところで、農用地を集積し農業政策に取り組むということ以外、規模の拡大も図れないという中では非常に厳しい状況にあります。

町政を問う！



御手洗 寿乃 議員

「せんたく」に参加された動機は 課せられた課題がそこにはあるのでは

■問
二月の新聞紙上で「せんたく」に参加されたことを知りました。
北川前三重県知事や東国原宮崎県知事等々が発起人となってできた組織と認識していますが、私が思いますには「地方自治の旗手」としての役割、上意下達ではなく下意上達とでもいいますか、地方の声が国を変える、そういう役割を担っての「せんたく」であれば非常に歓迎すべきことで、町長がそれに参加されたことに「その意気やよし」と感心しているところです。

■答 中嶋町長
地域あるいは生活者の起点で日本を（洗濯・選択）する国民連合というネーミングにも魅かれ、我々がこれから地方分権化や道州制を向かえていく中で、我々首長に課せられた大きな課題がそこに投げかけられるのではないかと期待を持っています。参加したのが本音です。しかし、どうも見えにくいものがあり、大いに期待をして参加しましたけれども、地方あるいは生活者の起点でという部分から遠ざかり、次の総選挙に向けてというテーマが余りにも大き過ぎたのではと懸念しています。「次の総選挙を有権者にとって実りあるものとするために活動し、総選挙の公示の段階でその役割を終える」と衆議院総選挙の公示がなされたら、そこでこのせんたくの会は解散をしようという事です。それで活動ができるの



「地域・生活者起点で日本を洗濯（選択）する国民連合」“せんたく”が発足
[新しい日本をつくる国民会議 - 21世紀臨調オフィシャルホームページより] 引用

かという思いもあるし、ましてやこれは新党運動でもない、特定の政党の候補者を支持・推薦する選挙活動も一切禁止という事です。この会の不可思議さを感じてきたところです。

しかし、思いというのは伝わりました。各界の代表の方々の意見や国会議員の方々が中心となり行った質問内容等においては、何らかの自分としての知識になったのではと思っています。



森 勝己 議員

■問
町行政に対して、また教職員に対し不当な行為、また言動が電話や口頭であるやと聞いています。町長に対する意見要望もすべて記録される等の不当要求防止対策を明記しているところもあります。本町の不当要求防止対策要綱の内容については、実際に不当要求行為と思われる事はあったのか。小中学校での不当要求行為と思われるようなことが過去になかったか。条例化し、マニュアルをしっかりと作ったらどうか。

不当要求行為対策は

要綱を作成し防止委員会を設置

■答 中嶋町長
近年、行政に対する権限行使要求、金品の要求等増えてきているのが現状ですが、本町においてそういうことは今のところありません。対策として、平成十六年に柏屋警察署指導のもと、不当要求行為等の防止に関する要綱を作成し、不当要求行為等の防止委



庁舎電話に設置されている録音機

員会を設置しました。不当要求行為等が発生した場合は、直ちに記録し報告書を会長に提出し、委員会を開催し実態把握及び対策事項の審議を行い、警察等関係機関との連絡調整を密に行っていくようにしています。また、窓口対応においては、対応処理票により

すべてを記録し、電話対応では、その交信内容を録音するようにしています。行政暴力に対する対処方法の研修会等も実施しており、不当要求防止対応マニュアルを十九年六月に作成し各課に配布しています。条例化の話もありましたが、現在のところは要綱で対応しているところと考えています。学校に対する不当要求行為については、ここ数年間は無かったと報告を受けております。給食費や保育費等の滞納といったものはありますが、担当課の方で根気強く対応してもらっていますので、今のところその処理についても十分な状況です。

委員会 レポート

文教厚生 総務建設産業

二十年度下水道工事 六億二千三百万円

平成二十年度は、左記箇所の面整備を行います。

①大島原 役場前の大島原交差点より武道館下までと、J Aガソリンスタンド付近及び武道館下より須恵川まで。

②須恵 役場西側下、町道大島原3号線。

③須恵 須恵中央駅下から須恵宝満宮裏まで、かやの保育所前から新城山池下まで、かやの地区。

④城山 東幼稚園横付近。

⑤長礼 城山団地の運動広場付近、赤坂水路沿い。

⑥恵西 恵西区グラウンドより恵西区公民館、恵西公民館から久野印刷手前まで。

⑦山の神 山の神区公民館周辺。

⑧恵西 酒見たばこ屋から下に家庭菜園手前までの共有地。

⑨山の神 恵西区グラウンド前より昭徳区へ向かう町道富ヶ丘線沿いの共有地内。

事業費六億一千三百万円、財源内訳として国庫補助金二億円、町債三億八千二百三十万円、受益者負担金三千六十五万円、一般財源五百万円となっております。

(全員賛成で可決)

二十年度水道工事 一億五千七百七十万円

◇水道管切り替え工事
水道管工事①～⑨に伴う水道管切り替え工事です。

◇新原 新原工業団地の王子製紙入口から、県道筑紫野～古賀線に向かっ

て二・三メートルの改良を行うものです。

ここは、昭和四十五年の団地造成当時、歩道内に埋設していた管が老朽化した事と、街路樹の根が原因で漏水が多発しています。

歩道内の修理が困難なため、車道内に埋設するものです。

◇佐谷 第二浄水場配水池防水工事

この施設は、平成元年に建設以来二十年経過しており、昨年内部調査を行った結果、底板部と天井部の防水モルタルが剥離状態にあるため、打ち変えるものです。

(全員賛成で可決)

農業委員会の選挙による委員の定数を削減

農業委員会の選挙による委員の定数が「十人」から「七人」に改正されました。

(全員賛成で可決)

七十五歳からの医療制度がスタート

高齢者に応じた医療サービスを提供するため四月より七十五歳以上(六十五歳から七十四歳までの寝たきりの人等を含む)の後期高齢者医療制度が始まりました。

七十五歳以上になると複数の病気になったり、治療が長期化する傾向があり、高齢者の特性や暮らしに配慮したサービスを提供するための制度です。

また、老人医療費が平成二十五年には約二十五兆円にまで増えると推測され、これまでの制度では、現役世代の負担が重くなるため、財源を公費五割、現役世代四割、七十五歳以上一割の負担とし、透明化されました。

町においても、高齢者医療費は平成十八年度一人当たり百六万円の支出となっており、これから



介護予防事業「わくわくデイサロン」

の少子化が進む中、医療費が上がるのが余儀なくされることが懸念されます。

老人保健制度は、これまで各市町村ごとに運営されており、小さな自治体にとって、非常に苦慮する問題でした。

その格差を是正するため、新制度は都道府県単位の広域連合で運営されるものとなっています。

新制度は、

- ①保険証が新しくなります。従来は二枚提示していたものが一枚提示すればよいこととなります。
- ②保険料が安くなる人が多くなります。
- ③これまでと同様の治療が受けられます。
- ④担当医を持つことが可能で、窓口負担は変わりません。

安心で持続可能な制度で、国民健康保険と比べ保険料の負担は軽減されますが、これまで扶養家族で保険料が不要だった人にも公平化という観点から新たに保険料を負担していただくことになりました。

妊産婦の皆様に朗報

一部の人が保険料を払わないと不公平が生じます。負担分を分かち合い、この保険制度を継続し、お互いに支えあつていきたいと思っています。

(全員賛成で可決)

少子化対策の一環として、平成二十年四月より妊婦健診に対する健診費用の助成が二回から五回へと改正されました。

一回目については、一万円の助成、二回目から五回目までそれぞれ六千円の助成を行うものです。

糟屋地区の市町において実施が決定したもので、他地区よりも先駆けした取り組みです。

医療も福祉も政治も経済もすべて人間を幸福にするためにあるべきだと思います。

(全員賛成で可決)



現地確認調査をする議員団
(第2浄水場配水池)

◇佐谷 第二浄水場管理棟塗装工事
配水池と同じく、二十年間の風雨等による劣化および水漏れの発生により今回改良するものです。

◇藤浦・皿山・上須恵・城山 配水施設補修工事
各施設は、三十年以上経過しているため、塗装等の劣化および躯体等の補修、フェンス等の整備を行うものです。

事業費一億五千七百七十万円、財源内訳は一般財源です。

このうち、六千万円は、下水道事業の方からの補償費です。

(全員賛成で可決)



藤石 豊 議長

三月議会を終えて

三月五日から二十一日まで十七日間の日程で三月定例議会が行われ、上程議案三十件・意見書二件全て可決されました。特に新年度（平成二十年度）の一般会計及び特別会計予算については、議員全員による予算審査特別委員会を設置し慎重審議致しました。

緊縮財政による行財政改革が求められる中、併せて議会改革も余儀なくされています。

議員提案による「道路特定財源の確保に関する意見書」は、須恵町のスマートインターへのアクセス道路整備の現状を考へ賛成多数で、「介護労働者の待遇改善を求める意見書」が懸念されます。

よって、国におかれては、地方の道路整備が遅れることのないよう、道路特定財源の安定的な確保についての施策を実施されるよう強く要望します。

見書」は、現況の労働条件や環境による介護保険制度は、将来に重大な影響を及ぼす観点から全員賛成で、可決されました。

又、一般質問には八名（十問）の議員が町長と教育長に対して町政を問う活発な質問が展開されました。

傍聴者が少なかったのがちよつと寂しい思いがしました。

住民の皆様様の議会への関心は議員の資質の向上と議会の活性化に結び付く大きな要因だと思えます。

議会と住民との垣根を取り除き、情報公開の原則を基本に、町民に開かれた信頼される議会を目指し全力で取組みたいと思います。

今後も須恵町議会に対するご理解、ご支援をお願い申し上げます。

糟屋6町合併協議

糟屋六町合併協議のその後の経過について、昨年十二月議会に法定協議会設置議案が上程され、最終日の二十一日に六町同時に議決されたわけですが、結果についてはご存じのとおり四町で可決二町で否決という結果になりました。

しかしながら、この合併構想を白紙に戻すわけにはまいりませんので、

平成二十年一月二十五日に六町長による協議で、六町合併の方針を維持することを確認、合併研究会事務局は縮小し二人体制で三月までは存続することにしました。

また否決した両町に対しては、平成二十年二月一日付けで四町長連名により「糟屋六町合併協議会設置について」の再提案の要望書を提出しました。



中嶋 裕史 町長

町長報告

粕屋町長は、議会と率直に話し合っ合併協議会設置に努力し、新市像を議論して住民に判断を仰ぎたいと前向きな姿勢を示しています。

しかしながら、久山町長からは二月七日に「信頼にお応え致すべきところですが、ご承知のとおり本町では十二月議会で大差による否決となった経緯があり、今その状況に何ら変化は見られず、いろいろ検討しましたが再提案できる状況にないとの結論にいたしました」との回答をうけ合併構想から離脱する考えを示されました。

今後は、残る五町で新たな枠組みやスケジュールを含めて対応を検討していきます。

意見書

◇介護労働者の待遇改善を求める意見書◇

介護に携わる人たちが、誇りと自信を持って仕事できるよう、また安心して暮らせるよう、政府において、特段の取り組みを行い、労働条件や福利厚生の上昇に全力を挙げよう強く要望します。

提出議員 柴田 真人
賛成議員 森 勝己

(全員賛成で可決)

政府関係機関へ送付しました。

◇道路特定財源の確保に関する意見書◇

現行の道路特定財源の暫定税率を維持するなどの措置が講じられない場合、本町の道路整備は深刻な停滞を余儀なくされることになり、また、すでに極めて厳しい状況にある財政運営に重大な影響を与え、住民サービス



拡張工事が計画されている筑紫野～古賀線

◇一般会計補正予算 (第五回)

平成十九年度一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ九千二百十三万一千円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ六十九億四百六十九万八千円となりました。

主なものとしては、不動産売り払い収入等基金積立金、起債繰り上げ償還金等の増額、経費節減効果による不用額の減額、職員退職・育児休業に伴う人件費の調整、時間外手当等の不用額の減額、入札執行残・事業未執行残等です。

◇国民健康保険特別会計 補正予算 (第三回)

◇公共下水道事業特別会計 補正予算 (第三回)

◇農業集落排水事業特別会計 補正予算 (第三回)

◇水道事業会計 補正予算 (第二回)

(全員賛成で可決)

補正予算

歳入歳出補正予算 (単位：千円)

会 計	歳入・歳出	補正額	予算総額
一 般 (第5回)	歳入 歳出	92,131	6,904,698
国民健康保険 (第3回)	歳入 歳出	△17,108	2,887,922
公共下水道事業 (第3回)	歳入 歳出	19,675	1,140,511
農業集落排水事業 (第3回)	歳入 歳出	△2,563	83,908
水道事業 (第2回)	収益的 歳入 歳出	△6,000 3,907	516,084 608,175
	資本的 歳入 歳出	135,600 136,041	195,600 343,466

「会期」ってなに？ シリーズ

議会が、議会としての権限を使用し、法的に活動することができる期間のこと。本会議初日から最終日までをいう。この会期は、本会議初日に議長が会議に諮って決定する。

その他の議案

その他の議案	可・否
町営路線の区域の変更について	全員賛成
須恵町特別職の職員及び教育長の給与に関する条例の特例に関する条例の制定について	全員賛成
須恵町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町職員の勤務時間、休業等に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町公聴会、調査等に出頭又は参加した者に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町有給職員旅費支給条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町消防団条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町若年者専修学校等技能習得資金貸与条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	賛成多数
須恵町国民健康保険条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成